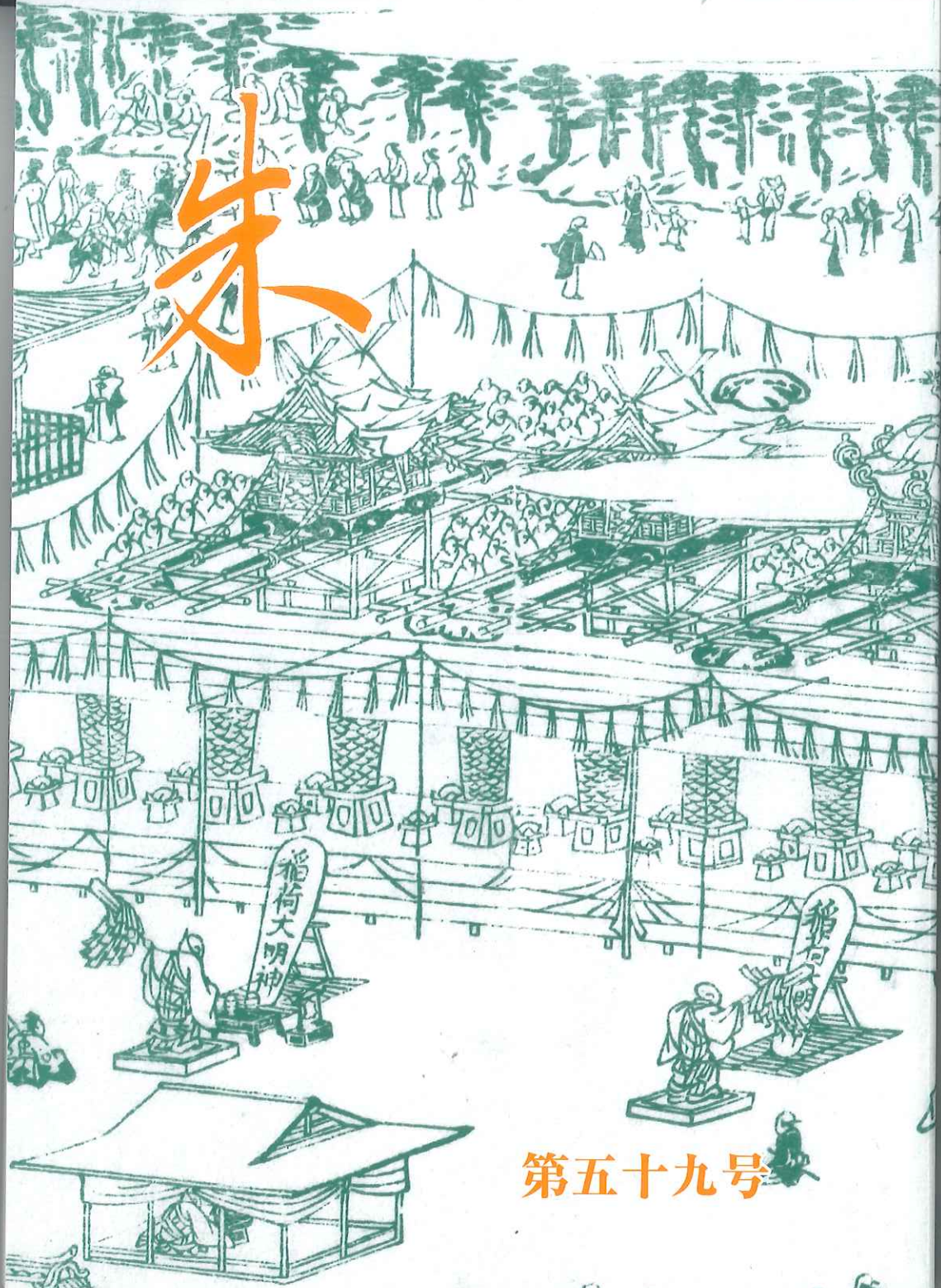


朱



第五十九号

題字(表紙)..... 富中村 陽  
 カット..... 由里本 出

稲荷祭神輿..... 久保智康..... 2

大阪の朱造り..... 鶴島三壽..... 59

『大鏡』における稲荷信仰―人物造形と歴史認識をめぐって―..... 高橋麻織..... 65

『萬葉童蒙抄』の意義..... 真下 厚..... 87

透明仙人の足跡―狐の隠れ姿を端緒に―..... 中前正志..... 100

刀八毘沙門天曼荼羅図について..... 入江多美..... 115

『建礼門院右京大夫集』所収「稲荷社歌合」考..... 安井重雄..... 130

あかあかと..... 長谷川 櫻..... 139

『狐雑考』―中国文学的観点を交えた狐に関して(哺乳綱ネコ目(食肉目)イヌ科イヌ亜科の一部)―..... 瞳 みのる..... 142

聖と俗のはざま―万葉集の「狐」―..... 城崎陽子..... 151

日本書紀の狐..... 渡辺瑞穂子..... 163

神階から見た平安時代前期の稲荷社..... 加瀬直弥..... 176

稲荷信仰の受容と展開―東京・埼玉の事例を中心に―..... 牧野眞一..... 187

―宮長常筆「神馬図絵馬」―..... 川見典久..... 204

伏見稲荷大社御旅所の能舞台―幕末期の能舞台を紹介して―..... 宮本圭造..... 214

稲荷大社由緒記集成所収文献..... 編 集 係..... 244

表紙『拾遺都名所図会』



田中社(不動堂)